

平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年11月7日

上場取引所 大

上場会社名 GMB(株)
 コード番号 7214 URL <http://www.gmb.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月12日

(氏名) 松岡 信夫
 (氏名) 阪口 有一
 配当支払開始予定日

TEL 0745-44-1911

平成20年12月9日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	19,971	—	1,487	—	1,544	—	732	—
20年3月期第2四半期	22,138	5.1	1,667	△9.4	1,662	△8.7	625	△12.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	140.64	—
20年3月期第2四半期	119.99	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
21年3月期第2四半期	38,813	—	20,085	—	41.8	—	3,115.70	—
20年3月期	42,451	—	21,561	—	39.1	—	3,181.77	—

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 16,238百万円 20年3月期 16,582百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	17.50	—	17.50	35.00
21年3月期	—	17.50	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	17.50	35.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,000	△11.7	1,700	△43.1	1,800	△35.1	900	△25.5	172.68

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 — 社(社名)) 除外 — 社(社名))(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第2四半期	5,212,440株	20年3月期	5,212,440株
② 期末自己株式数	21年3月期第2四半期	683株	20年3月期	575株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第2四半期	5,211,794株	20年3月期第2四半期	5,211,865株

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、3ページ【定性的情報・財務諸表】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年9月30日の6ヶ月間）における経済状況は、世界的な金融市場の混乱が本格的に実態経済に影響を及ぼし始め、わが国の景気は後退局面入りが確実となり、景気の減速感先進国にとどまらず新興国にも及んできました。また、自動車業界においても、先進国の販売が一段と低迷するとともに、新興国における販売も徐々に停滞傾向に向かっております。

このような環境の中、当社グループは、引き続き新車用部品・補修用部品の両市場において販売強化に努めた結果、欧州向けの販売が増加するなど概ね順調に推移いたしました。また、海外生産移管の加速などによるコスト削減努力や、原材料価格の上昇を製品価格へ転嫁することで吸収すべく尽力致しました。

さらに、在外子会社の財務諸表を円換算する際の為替変動による影響も加えた結果、当第2四半期連結累計期間の業績（前年同期比増減率は参考として記載）は、売上高が19,971百万円（前年同期比9.8%減）となり、営業利益は1,487百万円（同10.8%減）、経常利益は1,544百万円（同7.1%減）、四半期純利益は732百万円（同17.2%増）となりました。

当グループは単一セグメントであり、主要な品目分類別の販売状況を説明しますと、次のとおりであります。

駆動・伝達及び操縦装置部品部門は、中国生産拠点を活用した欧州向けユニバーサルジョイントの販売や、韓国新車用部品市場におけるバルブスプールの販売が引き続き順調に推移しましたが、為替換算の影響もあり、売上高は9,032百万円（前年同期比14.0%減）となりました。

エンジン部品部門は、欧州・東南アジアの補修用市場や韓国新車用部品の販売が増加しましたが、為替換算の影響により、売上高は5,249百万円（同1.9%減）となりました。

ベアリングその他部門は、韓国子会社が生産するテンショナー・アイドラー・ベアリングの新車用部品での販売が減少したことなどにより、売上高は5,689百万円（同9.4%減）となりました。

所在地別セグメントの業績は次のとおりであります。

①日本

欧州向けの輸出を中心に国内外の販売が順調に推移するとともに、製品価格への価格転嫁や海外生産移管による生産合理化や経費削減に取り組んだ結果、売上高7,271百万円（前年同期比8.6%増）、営業利益730百万円（同52.6%増）となりました。

②北米

連結子会社のGMB NORTH AMERICA INC.においては、引き続き補修用部品の中国製品などとの価格競争のなかで売上高は減少し、販売経費の削減にも取り組みましたが、売上高1,157百万円（同30.1%減）、営業損失83百万円（前年同期営業損失69百万円）となりました。

③アジア

連結子会社のGMB KOREA CORP.において、韓国自動車メーカーおよび系列部品メーカー向けや海外部品メーカー向けの販売は、一部新車販売の減速の影響もあるなかでも概ね順調に推移しましたが、円高韓国ウォン安の為替変動により円換算後の売上高は減少することとなりました。また、他の連結子会社を含め継続する原材料価格の上昇を十分に吸収することができなかつたため、採算も悪化することとなりました。これらの結果、売上高11,543百万円（同16.3%減）、営業利益775百万円（同39.0%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間末の総資産は38,813百万円となり、前連結会計年度末に比べて3,638百万円減少いたしました。純資産は20,085百万円で、自己資本比率は41.8%となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、たな卸資産の増加額が1,039百万円となったことなどに加えて、有形固定資産の取得による支出が1,344百万円、子会社株式の取得による支出が502百万円となったなど支出が増加した結果、当第2四半期連結累計期間末残高は923百万円減少して2,408百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は1,161百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が1,629百万円、減価償却費が1,136百万円となるなか、たな卸資産の増加額が1,039百万円、仕入債務の減少額が615百万円となったことなどによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は1,691百万円となりました。これは主に、設備投資による有形固定資産の取得による支出が1,344百万円、子会社株式の取得による支出が502百万円となったことなどによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は309百万円となりました。これは主に、長期借入金の減少や社債の償還などによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成20年10月24日付適時開示資料「業績予想の修正に関するお知らせ」において、通期の連結業績予想の修正を公表いたしました。その連結業績予想からの修正はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

(会計処理基準に関する事項の変更)

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②重要な資産の評価基準及び評価方法の変更

たな卸資産

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ28,431千円減少しております。

なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

③「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号 平成18年5月17日）を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。

これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ20,302千円増加しております。

なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

また、この修正において、当連結会計年度期首の利益剰余金が55,678千円減少しております。

④リース取引に関する会計基準の適用

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号（平成5年6月17日（企業会計審議会第一部会）、平成19年3月30日改正））及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号（平成6年1月18日（日本公認会計士協会 会計制度委員会）、平成19年3月30日改正））が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっております。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

なお、リース取引開始日が適用初年度前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、引き続き通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

(追加情報)

①有形固定資産の耐用年数の変更

当社の機械装置については、従来、耐用年数を2～12年としておりましたが、法人税法の改正を契機として、資産の利用状況等を見直した結果、第1四半期連結会計期間より2～9年に変更しました。

これにより、営業利益及び経常利益は29,177千円、税金等調整前四半期純利益は28,810千円、それぞれ減少しております。

なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,865,711	4,901,041
受取手形及び売掛金	6,087,273	7,882,678
商品及び製品	2,514,945	2,476,392
仕掛品	3,842,118	3,535,638
原材料及び貯蔵品	1,689,343	1,643,974
繰延税金資産	227,965	204,376
その他	959,469	642,093
貸倒引当金	△86,445	△166,903
流動資産合計	19,100,383	21,119,292
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,022,532	4,364,521
機械装置及び運搬具（純額）	7,348,969	8,154,604
土地	5,891,768	6,105,416
建設仮勘定	864,532	913,220
その他（純額）	499,027	528,953
有形固定資産合計	18,626,831	20,066,716
無形固定資産		
のれん	68,656	82,387
その他	253,740	256,954
無形固定資産合計	322,397	339,342
投資その他の資産		
投資有価証券	116,483	152,213
繰延税金資産	267,730	357,671
その他	389,891	445,800
貸倒引当金	△10,134	△29,304
投資その他の資産合計	763,971	926,381
固定資産合計	19,713,199	21,332,439
資産合計	38,813,583	42,451,732

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,191,625	5,508,758
短期借入金	2,757,783	2,446,862
1年内返済予定の長期借入金	2,117,794	2,185,382
1年内償還予定の社債	600,000	900,000
未払法人税等	577,067	580,671
繰延税金負債	742,689	719,023
賞与引当金	189,313	213,037
製品保証引当金	244,935	284,643
その他	1,835,168	2,211,075
流動負債合計	13,256,376	15,049,453
固定負債		
長期借入金	2,893,939	3,117,974
繰延税金負債	25,510	—
退職給付引当金	1,696,747	1,846,850
役員退職慰労引当金	245,500	312,400
負ののれん	140,999	—
その他	469,250	563,251
固定負債合計	5,471,947	5,840,476
負債合計	18,728,323	20,889,929
純資産の部		
株主資本		
資本金	838,598	838,598
資本剰余金	988,000	988,000
利益剰余金	14,286,775	13,700,695
自己株式	△1,636	△1,510
株主資本合計	16,111,736	15,525,782
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	7,979	25,938
為替換算調整勘定	118,546	1,031,248
評価・換算差額等合計	126,525	1,057,186
少数株主持分	3,846,996	4,978,833
純資産合計	20,085,259	21,561,802
負債純資産合計	38,813,583	42,451,732

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
売上高	19,971,890
売上原価	15,874,874
売上総利益	4,097,015
販売費及び一般管理費	2,609,096
営業利益	1,487,919
営業外収益	
受取利息	14,526
為替差益	110,279
受取保険金	19,835
負ののれん償却額	7,421
その他	62,315
営業外収益合計	214,378
営業外費用	
支払利息	104,165
手形売却損	41,180
その他	12,621
営業外費用合計	157,967
経常利益	1,544,330
特別利益	
固定資産売却益	22,704
貸倒引当金戻入額	74,095
持分変動利益	20,381
その他	6,832
特別利益合計	124,013
特別損失	
固定資産売却損	58
固定資産除却損	16,335
役員退職慰労金	22,000
特別損失合計	38,394
税金等調整前四半期純利益	1,629,948
法人税等	565,891
少数株主利益	331,091
四半期純利益	732,966

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間
 (自 平成20年4月1日
 至 平成20年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	1,629,948
減価償却費	1,136,565
のれん償却額	14,662
負ののれん償却額	△7,421
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△73,740
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△23,724
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	123,282
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	6,952
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△66,900
受取利息及び受取配当金	△16,000
支払利息	104,165
為替差損益 (△は益)	173,092
有形固定資産除売却損益 (△は益)	△6,309
売上債権の増減額 (△は増加)	1,017,733
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,039,215
仕入債務の増減額 (△は減少)	△615,422
その他	△596,487
小計	1,761,182
利息及び配当金の受取額	14,683
利息の支払額	△116,964
法人税等の支払額	△497,306
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,161,594
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△1,107,848
定期預金の払戻による収入	1,143,980
有形固定資産の取得による支出	△1,344,088
有形固定資産の売却による収入	64,072
無形固定資産の取得による支出	△40,394
投資有価証券の取得による支出	△13
投資有価証券の償還による収入	30,216
子会社株式の取得による支出	△502,391
貸付けによる支出	△10,866
貸付金の回収による収入	12,796
その他	63,045
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,691,491

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間
(自平成20年4月1日
至平成20年9月30日)

財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	2,997,040
短期借入金の返済による支出	△2,563,521
長期借入れによる収入	1,073,177
長期借入金の返済による支出	△1,281,670
リース債務の返済による支出	△63,442
社債の償還による支出	△300,000
配当金の支払額	△91,207
少数株主への配当金の支払額	△80,019
自己株式の取得による支出	△125
財務活動によるキャッシュ・フロー	△309,768
現金及び現金同等物に係る換算差額	△84,299
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△923,964
現金及び現金同等物の期首残高	3,332,081
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,408,116

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当第2四半期連結会計期間（自平成20年7月1日 至平成20年9月30日）及び当第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

当社グループは自動車部品のメーカーとして、同一セグメントに属するウォーターポンプ及びユニバーサルジョイント等の製造、販売を行っており、当該事業以外に事業の種類がないため該当事項はありません。

〔所在地別セグメント情報〕

当第2四半期連結会計期間（自平成20年7月1日 至平成20年9月30日）

	日本 (千円)	北米 (千円)	アジア (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	3,760,137	584,448	5,903,480	10,248,066	-	10,248,066
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	791,208	4,042	1,755,793	2,551,044	(2,551,044)	-
計	4,551,346	588,490	7,659,273	12,799,110	(2,551,044)	10,248,066
営業利益 (または営業損失(△))	334,655	△41,995	422,280	714,939	13,338	728,278

当第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

	日本 (千円)	北米 (千円)	アジア (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	7,271,201	1,157,228	11,543,460	19,971,890	-	19,971,890
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,490,325	8,391	3,265,013	4,763,731	(4,763,731)	-
計	8,761,527	1,165,619	14,808,473	24,735,621	(4,763,731)	19,971,890
営業利益 (または営業損失(△))	730,460	△83,377	775,346	1,422,429	65,490	1,487,919

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 本邦以外の区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。

- (1) アジア・・・韓国、中国、タイ
- (2) 北米・・・アメリカ

3. 会計処理の方法の変更

(棚卸資産の評価に関する会計基準)

「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」(1)に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）を適用しております。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比較して、当第2四半期連結累計期間の日本の営業利益が28,431千円減少しております。

(連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い)

「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」(2)に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号 平成18年5月17日)を適用しております。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比較して、当第2四半期連結累計期間のアジアの営業利益が20,302千円増加しております。

4. 追加情報

(有形固定資産の耐用年数の変更)

「追加情報」に記載のとおり、当社の機械装置については、従来、耐用年数を2～12年としておりましたが、法人税法の改正を契機として、資産の利用状況等を見直した結果、第1四半期連結会計期間より2～9年に変更しました。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比較して、当第2四半期連結累計期間の日本の営業利益が29,177千円減少しております。

[海外売上高]

当第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)

	アジア	北米	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	6,013,481	1,032,036	1,578,770	8,624,288
II 連結売上高(千円)	-	-	-	10,248,066
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	58.7	10.1	15.4	84.2

当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)

	アジア	北米	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	11,882,442	1,877,494	3,013,194	16,773,131
II 連結売上高(千円)	-	-	-	19,971,890
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	59.5	9.4	15.1	84.0

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しています。

2. 各区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

(1) アジア・・・韓国、中国、タイ等

(2) 北米・・・アメリカ、カナダ

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表

(1) 中間連結損益計算書

区分	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	
	金額 (千円)	百分比 (%)
I 売上高		22,138,741 100.0
II 売上原価		17,652,804 79.7
売上総利益		4,485,936 20.3
III 販売費及び一般管理費		2,818,553 12.8
営業利益		1,667,382 7.5
IV 営業外収益		
1. 受取利息	18,221	
2. 為替差益	95,473	
3. 受取保険金	948	
4. その他	55,868	170,511 0.8
V 営業外費用		
1. 支払利息	107,501	
2. 手形売却損	37,199	
3. その他	30,318	175,019 0.8
経常利益		1,662,874 7.5
VI 特別利益		
1. 固定資産売却益	27,120	
2. 投資有価証券売却益	415	
3. 製品保証引当金戻入益	9,475	37,011 0.2
VII 特別損失		
1. 固定資産売却損	4,802	
2. 固定資産除却損	9,580	14,383 0.1
税金等調整前中間純利益		1,685,503 7.6
法人税、住民税及び事業税	454,675	
法人税等調整額	154,003	608,678 2.8
少数株主利益		451,431 2.0
中間純利益		625,393 2.8

(2) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
区分	金額 (千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前中間純利益	1,685,503
減価償却費	1,216,976
のれん償却額	13,731
貸倒引当金の増減額 (△減少額)	34,505
賞与引当金の増減額 (△減少額)	△5,763
役員賞与引当金の増減額 (△減少額)	△26,320
退職給付引当金の増減額 (△減少額)	138,273
製品保証引当金の増減額 (△減少額)	△40,822
役員退職慰労引当金の増減額 (△減少額)	12,600
受取利息及び受取配当金	△19,566
支払利息	107,501
為替差損益 (△益)	△130,684
投資有価証券売却益	△415
有形固定資産売却益	△27,120
有形固定資産除売却損	14,383
売上債権の増減額 (△増加額)	24,841
たな卸資産の増減額 (△増加額)	△120,815
仕入債務の増加額	401,474
その他	△374,848
小計	2,903,431
利息及び配当金の受取額	27,359
利息の支払額	△123,409
法人税等の支払額	△447,123
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,360,258

	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
区分	金額 (千円)
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△637,462
定期預金の払戻による収入	676,750
有形固定資産の取得による支出	△1,724,747
有形固定資産の売却による収入	183,230
無形固定資産の取得による支出	△9,940
投資有価証券の取得による支出	△63
投資有価証券の売却による収入	545
投資有価証券の償還による収入	40,616
貸付けによる支出	△10,149
貸付金の回収による収入	9,434
その他	△25,955
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,497,740
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	3,531,699
短期借入金の返済による支出	△3,439,858
長期借入れによる収入	660,000
長期借入金の返済による支出	△1,073,393
セール・アンド・リースバックによる収入	155,693
リース債務の返済による支出	△88,981
社債の償還による支出	△30,000
配当金の支払額	△78,177
少数株主への配当金の支払額	△96,875
財務活動によるキャッシュ・フロー	△459,893
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	90,644
V 現金及び現金同等物の増加額	493,268
VI 現金及び現金同等物の期首残高	3,156,806
VII 現金及び現金同等物の中間期末残高	3,650,074

(3) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当社グループは自動車部品のメーカーとして、同一セグメントに属するウォーターポンプ及びユニバーサルジョイント等の製造、販売を行っており、当該事業以外に事業の種類がないため該当事項はありません。

〔所在地別セグメント情報〕

前中間連結会計期間（平成19年4月1日～9月30日）

	日本 (千円)	北米 (千円)	アジア (千円)	計 (千円)	消去又は全 社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	6,697,517	1,656,457	13,784,765	22,138,741	—	22,138,741
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,399,399	9,544	3,241,125	4,650,069	(4,650,069)	—
計	8,096,916	1,666,002	17,025,891	26,788,810	(4,650,069)	22,138,741
営業利益又は営業損失 (△)	478,709	△69,037	1,271,032	1,680,703	(13,321)	1,667,382

〔海外売上高〕

前中間連結会計期間（平成19年4月1日～9月30日）

	アジア	北米	その他の地域	計
I 海外売上高 (千円)	13,787,840	2,522,070	2,493,966	18,803,877
II 連結売上高 (千円)	—	—	—	22,138,741
III 連結売上高に占める海外売上高の割合 (%)	62.3	11.4	11.2	84.9

「参考」
四半期個別財務諸表
四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
売上高	8,761,527
売上原価	7,257,562
売上総利益	1,503,965
販売費及び一般管理費	851,275
営業利益	652,689
営業外収益	161,073
営業外費用	70,000
経常利益	743,762
特別利益	3,221
特別損失	28,639
税引前四半期純利益	718,345
法人税等	274,847
四半期純利益	443,497

- (注) 1. この四半期損益計算書は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成しておりますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。
2. 当社は、四半期決算短信においては四半期連結財務諸表のみを開示する方針であります。この四半期損益計算書は、平成20年5月14日付「平成20年3月期決算短信」および平成20年10月24日付「業績予想の修正に関するお知らせ」において開示した、平成21年3月期第2四半期累計（中間期）の個別業績予想の実績確認資料として情報開示するものであります。